第45期中間報告書

2019年9月1日 ▶ 2020年2月29日

株式会社 ケマラヤ

(証券コード 7514)



To Our Shareholders

ごあいさつ



代表取締役社長 СОО 後藤達也

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ2020年8月期(当社第45期)(2019年9月1日~2020年8月31日)の中間決算を行いましたので、ここにご報告させていただきます。

1. 当中間期の日本経済の動きについて

当第2四半期連結累計期間(2019年9月1日~2020年2月29日)における我が国の経済は、雇用環境の改善が継続するなど回復基調を示す反面、10月に実施された消費税率引上げの影響などにより、個人消費の動向は不透明なものとなりました。一方、米中貿易摩擦など海外の不安定な情勢の継続に加え、新型コロナウイルス

感染症のパンデミックの影響が拡大しており、 国内外の経済動向は不透明な状況となっており ます。

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、記録的な暖冬、少雪の年となったことにより、ウインタースポーツを始めとする冬物商戦全般に影響を受けました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、プロ、アマチュア、学生、一般層の係わる様々なスポーツにおいて、自粛、規模縮小を余儀なくされる状況となりました。早期の事態の鎮静化が望まれます。

一方、EC市場の拡大により、お客様の購買動向の変化が進行しております。当社グループはEC販売システムへの投資により、販売サイトの利便性を高め、EC市場でのシェアの獲得を推し進めるとともに、拡大するEC市場のお客様をリアル店舗へ送客する仕組みを整えるなど、市場変化への対応を進めております。

2. 出店退店の状況について

当第2四半期連結累計期間における出退店の 状況には変化はありません。2020年2月末時点 で当社グループの店舗数は全国で106店舗、売 場面積は220,612㎡、前年同期比で店舗数は1 店舗減、売場面積は2.970㎡減となりました。

3. 当中間期の業績について

売上高については、暖冬、少雪の影響により 防寒用のウエア、雑貨の販売が影響を受けたこ と、ECではキャッシュレス・ポイント還元事業

.

の影響も加わった過度な価格競争を避けていること、消費税率引上げによる個人消費の低下などにより、全般に前年同期を下回る状況となりました。これらの影響を受け、商品別では、一般スポーツ用品は前年同期比90.0%となり、ゴルフ用品は人気ゴルフクラブの発売年ながらも、前年同期比91.6%となりました。アウトドア用品は、引き続きキャンプ用品、アウトドアウエアの好調が下支えし、前年同期比107.4%となりました。スキー・スノーボード用品は、降雪の少なさから、多くのスキー場でオープンもままならない状況となり、ファミリー層の動きが著しく低迷したことなどから前年同期比67.8%となりました。

連結売上総利益率は、冬物商品の在庫処分、 9月に実施した消費税率引上げ前のセールの影響などから33.0%となり、前年同期に比べ1.0 ポイント低下いたしました。

販売費及び一般管理費については、全般的に 抑制したものの、売上総利益の低下を補うには 至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高29,408百万円(前年同期比9.2%減)、営業損失549百万円(前年同期は77百万円の営業損失)、経常損失481百万円(前年同期は20百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失386百万円(前年同期は83百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

4. 連結業績予想について

現在のところ、2019年9月26日に発表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想については、本資料の発表日 現在において入手可能な情報に基づき作成した ものであり、実際の業績は今後様々な要因に よって、予想数値と異なる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、市場環境に影響を与える可能性がある事象についてはその動向を注視しております。今後、業績予想を修正する必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

これからも社員一同精一杯努力を続けてまいりますので、今後とも株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

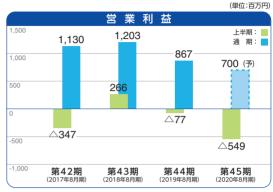
2020年5月

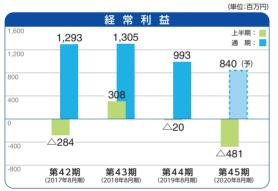


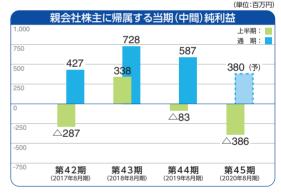
Financial Highlight

連結財務ハイライト

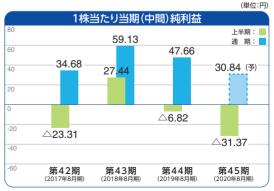












(注) 第45期(予)は、現在のところ、2019年9月26日に発表した業績予想を据え置いて掲載しております。



FIELDSTYLE JAMBOREE2019 出展 2020年春発売開始 期待の新商品



ヒマラヤキャンプサイトinめいほう2019





・2019年10月5日 (土) - 6日 (日) 開催

2年連続で台風によって中止となり、多くのお客様から再開のご要望をいただいていたイベントでしたが、昨年は無事に、約6年ぶりとなるヒマラヤキャンプサイトを開催することができました。

当日は、子供たち向けの「各種ワークショップ」やキャンプマナーを学習する「スタンプラリー」、大人向けにはキャンプの楽しさをレベルアップさせる「バーベキュー、燻製、コーヒーの淹れ方などの各種講習会」を実施し、楽しみながら学習できる充実したイベントを開催いたしました。キャンプサイトの最後には、全員参加の「ペグ抜き抽選会」を実施して、歓声と笑顔があふれるイベントとなりました。

第16回 ヒマラヤ杯フットベースボール大会





- ・2019年11月2日 (土) 予選リーグ開催
- ・2019年11月3日(日)決勝トーナメント開催

愛知県岡崎市および安城市にて、第16回ヒマラヤ杯フットベースボール大会を開催いたしました。この地域に馴染みの深いスポーツである「フットベースボール」を通じ、子供から大人まで皆が触れ合える地域交流の場として毎年開催しております。楽しい1日を過ごせるように、フットベースボール大会以外にも3種類のチーム対抗イベントも実施し、各チームで競い合うなど、お楽しみイベントも昨年以上に充実させました。

全47チームの参加で開催された本大会は、熱戦あり、笑顔あり、 涙あり、感動ありで盛り上がる中、「北野パンサーズ」チームの2 年連続2回目の優勝で幕を閉じました。

大会会場には関係者を含む約1,300名を超える人々が来場し、応援や歓声が行き交う、活気ある大会となりました。

これからも世界一のスポーツの伝道者として、スポーツの楽しさと夢と感動 を伝えられるイベントを継続して参ります。

店舗網(2020年2月末時点) ヒマラヤ: 102店舗 その他 : 4店舗 (単位:店舗) ヒマラヤ店舗数の推移 上半期末: 期 末: 110 109 106 106 信越・北陸エリア ヒマラヤ:5店舗 関西エリア ヒマラヤ: 14店舗 関東エリア ヒマラヤ: 10店舗 九州・沖縄エリア その他 : 3店舗 ヒマラヤ: 20店舗 第42期 第43期 第44期 第45期 東海エリア ヒマラヤ: 26店舗 その他 : 1店舗 中国・四国エリア ヒマラヤ: 27店舗

最新の店舗網は当社ホームページをご覧ください。(ホームページアドレス https://www.himaraya.co.jp/)

ヒマラヤオンライン



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

中間貸借対照表

	前中間期 (2019年2月28日現在)	当中間期 (2020年2月29日現在)	前期 (2019年8月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	22,879	22,686	21,379
固定資産	12,851	12,196	12,296
資産合計	35,731	34,882	33,675
(負債の部)			
流動負債	16,764	14,728	14,358
固定負債	4,672	5,960	4,539
負債合計	21,437	20,688	18,897
(純資産の部)			
株主資本	14,292	14,330	14,840
その他の包括利益累計額	1	△136	△62
純資産合計	14,294	14,194	14,777
負債・純資産合計	35,731	34,882	33,675

中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間期 (2018年9月 1日から) (2019年2月28日まで)	当中間期 (2019年9月 1日から) 2020年2月29日まで)	前 (2018年9月 1日から) (2019年8月31日まで)
売上高	32,404	29,408	66,560
売上総利益	11,024	9,690	22,770
販売費及び 一般管理費	11,102	10,239	21,902
営業利益又は 営業損失(△)	△77	△549	867
営業外収益	129	144	285
営業外費用	72	76	159
経常利益又は 経常損失(△)	△20	△481	993
特別利益	0	_	_
特別損失	45	_	136
税金等調整前当期純 利益又は税金等調整 前中間純損失 (△)	△64	△481	858
親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益又は親会社株 主に帰属する中間純損失(△)	△83	△386	587

(単位:百万円)



中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間期 (2018年9月 1 日から) 2019年2月28日まで)	当中間期 (2019年9月 1 日から) 2020年2月29日まで)	前 期 (2018年9月 1 日から) 2019年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	526	△17	△680
投資活動による キャッシュ・フロー	△285	△205	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,521	728	△1,023
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,281	505	△2,123
現金及び現金同等物の期 首 残 高	4,689	2,566	4,689
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,408	3,071	2,566

連結中間貸借対照表

当中間期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,207百万円増加し34,882百万円となりました。主な要因はたな卸資産が増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加し、20,688百万円となりました。主な要因は短期借入金が減少した一方で支払手形及び買掛金、長期借入金が増加したことによります。

純資産は、利益剰余金の減少などにより前連結会計年度末に比べ583百万円減少し、14,194百万円となりました。

連結中間損益計算書

売上高は、暖冬、少雪の影響により防寒用のウエア、 雑貨の販売が影響を受けたこと、ECではキャッシュレス・ポイント還元事業の影響も加わった過度な価格競争を避けていること、消費税率引上げによる個人消費の低下などにより、前年同期に比べ2,996百万円減少し29,408百万円となりました。売上総利益は、冬物商品の在庫処分、9月に実施した消費税率引上げ前のセールの影響などから前年同期に比べ1,334百万円減少し9,690百万円となり、売上総利益率は、前年同期に比べ1.0ポイント低下し33.0%となりました。

経常損失は、前年同期に比べ461百万円増加し481百万円となり、親会社株主に帰属する中間純損失は前年同期に比べ302百万円増加し386百万円となりました。

連結中間キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加により1,177百万円資金が増加した一方で、たな卸資産の増加により1,438百万円資金が減少したことにより17百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出により205百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減800百万円、長期借入金の返済による支出1,237百万円により資金が減少した一方で、長期借入金の借入による収入により2,900百万円資金が増加したことにより728百万円の増加となりました。

これにより、当中間期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ505百万円増加し、3,071百万円となりました。



Company Profile

会社データ

HIMARAYA

株式会社ヒマラヤ (HIMARAYA Co..Ltd.) 商 代 者 代表取締役会長 CEO 小森裕作 表 代表取締役社長 COO 後藤達也 証券コード 7514 (東京証券取引所および名古屋証券取引所各第一部上場) **7500-8630** 本店所在地 岐阜県岐阜市汀添1丁月1番1号 TEL 058-271-6622 (代表) ホームページ https://www.himaraya.co.jp/ 設 立 1991年 資 金 2,544百万円 本 従 業員 数 679人 (単体) 役 代表取締役会長 CEO 小森 裕作 取 (2020年2月29日現在) 代表取締役社長 COO 後藤 達也 小森 一輝 専務取締役 取締役 大野 輝文 取締役 升 浩則 川村 祥之(针外) 取締役(常勤監査等委員) 取締役(監査等委員) 加藤 文夫(社外) 而尾 嘉寿(针外) 取締役(監査等委員)

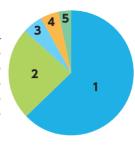
グループ企業の状況

会社名	資本金(百万円)	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
コアブレイン株式会社	100	100	フルフィルメント事業

株式の分布状況

| 地域別分布状況(所有株数)

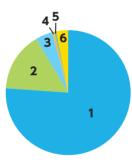
1 中部地方	62.8%
2 関東地方	24.1%
3 近畿地方	5.3%
4 その他地方	4.6%
5 外国	3.2%



| 所有株数別分布状況(株主数)

1	100株以上500株未満	76.3%
2	500株以 F1 000株未満	15.2%

- **3** 1,000株以上5,000株未満 4.4°
- 4 5,000株以上10,000株未満 0.6%
- **5** 10,000株以上50,000株未満 0.5%
- 6 その他 3.0%



| 所有者別分布状況(所有株数)

1 その他の国内法人	41.8%
2 個人その他(含自己名義)	36.5%
3 金融機関	19.3%
4 外国法人等(含外国個人)	2.0%

0.4%

5 証券会社



株主優待制度

ヒマラヤの株式を100株以上ご所有の株主の皆様に年2回、当社全店舗において商品をお買い上げの際にご利用いただける値引券を贈呈いたします。

贈呈基準			
100株以上	500株未満	一律1,000円値引券× 1枚	
500株以上	2,000株未満	一律1,000円値引券× 3枚	
2,000株以上	5,000株未満	一律1,000円値引券× 6枚	
5,000株以上	10,000株未満	一律1,000円値引券×15枚	
10,000株以上		一律1,000円値引券×30枚	

基準日および贈呈時期

8月31日現在の株主に対しては、

11月下旬に発送(有効期限 翌年11月30日)

2月末日現在の株主に対しては、

5月下旬に発送(有効期限 翌年5月31日)

ホームページのご案内

https://www.himaraya.co.jp/

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しております。

店舗情報やスポーツイベント情報を掲載しているほか、 株主・投資家の皆様への情報もご覧いただけます。 また、ヒマラヤオンラインストアも是非ご利用ください。



Shareholder Information

株主メモ

株式の状況 発行可能株式総数 40,000,000株

> 発行済株式総数 12,320,787株 株主数 (2020年2月29日現在) 10,687名 単元株式数 100株

事業年度毎年9月1日から翌年8月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年11月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年8月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法、公告の方法は電子公告であります。ただし、やむを得ない

事由により電子公告をすることができない場合は日本経済

新聞に掲載いたします。

(ホームページアドレス https://www.himaraya.co.jp/)

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵 便 物 送 付 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁月8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電 話 照 会 先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネットホームページURL https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、 口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株 主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった 株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別 口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話 照会先にお願いいたします。







